

小・中学校の防音事業に 五億二千二百万円を計上

(五十二年の町予算)

昭和五十二年度予算は三月定例議会で議決され執行に移されていますが、その概要をお知らせします。(予算の編成方針については四月一日付広報一五二号を参照してください。)

騒音対策重点に

建設事業は

前年の4.6倍

昭和五十二年度の一般会計予算は十七億五千万円(前年度予算九億八千三百三十万円)で前年度当初予算を七億六千八百七十万円(七八・三%)うまわる大型予算となつています。また、過去五年間の予算規模の推移は第三図のとおりです。

歳入面では、町税が三億三千百九万五千円で予算総額の一八・九%を占めており、固定資産税、町民税等の若干の伸びを見込み、前年度より四千四十一万六千円(一三・九%)増加計上しました。国庫支出金が四億七千七百八十四万八千円(前年度九千百一十一万五千円)、町債一億二千九百九十万円(前年度五千七百七十万円)で横芝小中学校および横芝中学校の防音改造事業による空港公園補助金および

借入金により前年度より大巾に増加しています。

また町税、使用料および手数料などの自主財源は五億七千四百十五万三千円で、前年度と比較すると四五・五%増、依存財源との構成比においては三二・八%と前年度の構成比三八・三%をわずかに下まわっています。また国庫支出金、地方交付税、町債などの依存

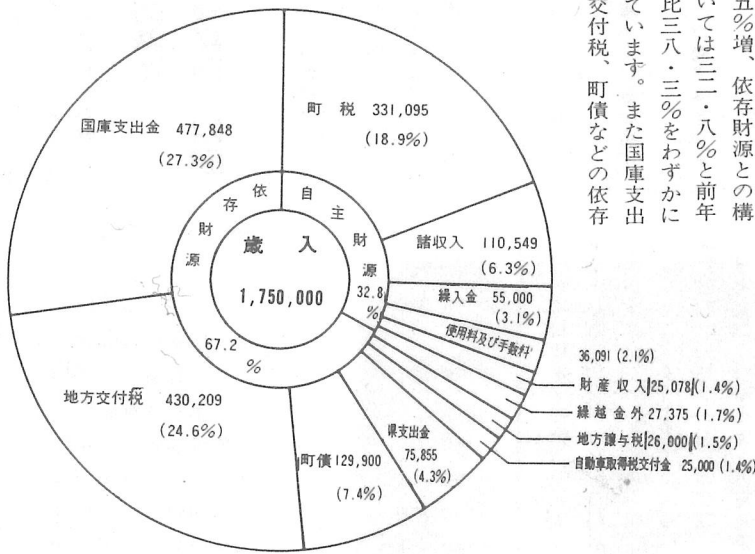
財源は十一億七千五百八十四万七千円(六七・二%)で、前年度に比べ一〇・四%と大巾に増加しています。

このように町の財政は、町民のみなさんが直接または間接に納める税金と、国庫からの交付金や補助金、借入金などで運営されています。

歳出面では、予算編成方針で述べたように産業の振興・教育施設の整備・生活環境の整備・住民福祉の向上を柱に計上されました。

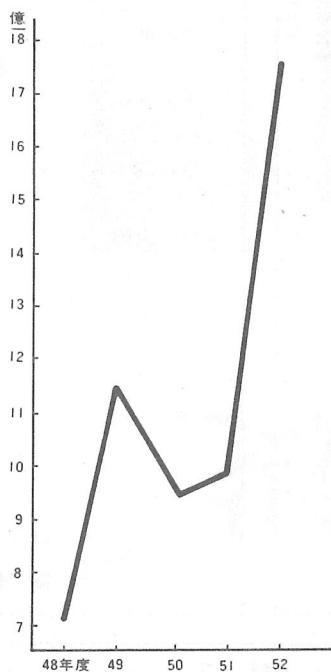
第一図

(単位千円)



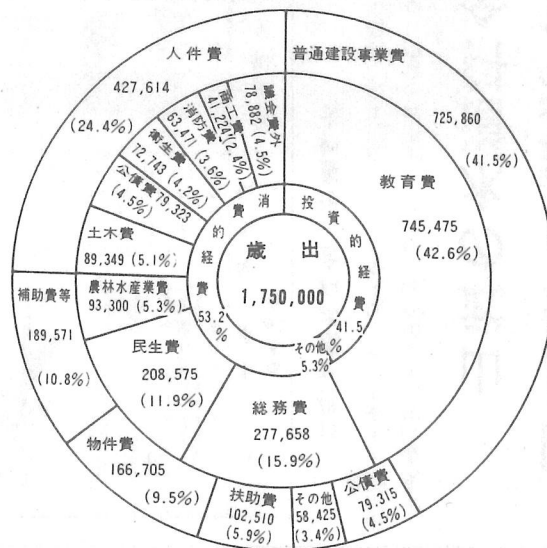
第三図

一般会計予算規模の推移



第二図

(単位千円)



性質別には、道路舗装、学校建設などの普通建設事業費に七億二千五百八十六万円(主なものは横芝中学校の校舎防音改造および増築事業に三億一千八百五十八万五千円・横芝小学校の校舎防音改造事業に二億三百八十四万五千円)・町道舗装事業に四千四百四十万円・給食センター浄化槽設置事業に二千万円)・職員の給与・議会議員その他委員の報酬などの人件費に四億二千七百六十一万四千円・し尿処理・ごみ処理・消防業務など(次頁の四段に続きます)